

登録簿(鳥獣保護管理調査コーディネーター)

登録番号	R10011				
(ふりがな) 氏名	はしもと ゆきひこ 橋本 幸彦				
連絡先	名称	九州保健福祉大学 薬学部			
	役職	非常勤講師			
専門分野	鳥獣保護管理調査コーディネーター				
専門とする鳥獣	<input type="checkbox"/> イノシシ <input checked="" type="checkbox"/> ニホンジカ <input checked="" type="checkbox"/> ツキノワグマ <input type="checkbox"/> ヒグマ <input type="checkbox"/> サル <input checked="" type="checkbox"/> カモシカ <input type="checkbox"/> カワウ <input type="checkbox"/> 外来種 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
	主な活動地域	<input type="checkbox"/> 北海道 <input checked="" type="checkbox"/> 東北 <input checked="" type="checkbox"/> 関東 <input type="checkbox"/> 北陸 <input checked="" type="checkbox"/> 中部 <input type="checkbox"/> 近畿 <input type="checkbox"/> 中国 <input type="checkbox"/> 四国 <input type="checkbox"/> 九州 <input type="checkbox"/> 沖縄			
		鳥獣保護管理活動の経歴			
			2000年から2005年に自然環境研究センターに在籍し日本各地においてツキノワグマ、ニホンジカ、カモシカなどの調査・研究業務を担当した。また、2005年以降、尾瀬国立公園(福島・群馬・新潟)におけるツキノワグマ対策の責任者として、現地対応をしながら国内初の国立公園内の保護管理マニュアルを策定した。		

○登録者の住所、電話番号、FAX番号、E-mailに関わる情報については、利用者が利用申請書を運営事務局へ提出した場合に、当該利用者に限り情報の提供をします。

鳥獣保護管理調査コーディネーター

橋本 幸彦

四日市大学 環境情報学部

対象鳥獣
カモシカ

活動地域
鈴鹿山地

事業内容

カモシカ保護地域通常調査 ほか
(活動時所属：三重県自然環境保全センター)

事業の背景

鈴鹿山地カモシカ保護地域は1983年に三重県と滋賀県の県境に位置する鈴鹿山脈の稜線部に設定された。この保護地域ではカモシカの生息状況を継続的にモニタリングするため、過去に5回の特別調査が行われ、それ以外の時期は通常調査が行われている。通常調査では目撃情報の収集や生息密度調査を実施されている。

依頼を受けて実施した内容

通常調査の調査員として目撃情報の収集や生息密度調査を実施した。さらにその後、独自により詳細なカモシカの生息状況調査を行い、論文としてまとめ、カモシカの保護管理について提言した。



写真1　糞塊法調査の際に引いたライン

事業の成果

通常調査では糞塊法による生息密度推定調査を行なった。また、聞き取り調査の結果と自身の目撃情報を地図上に落とし、報告した。保護地域のコアエリアにあたる稜線部でカモシカの目撃も痕跡もなくなっており、分布の空洞化が起きていると考えられた。このため、センサーダブルの設置とライトセンサスを実施し、空洞化を確認した。

保護地域全体でカモシカが減少していると考えられるので、今後、保護施策を実施していかねばならない。



写真2 発見したカモシカの糞塊



写真3 ライトセンサス 調査風景